

厚生労働省岩手労働局発表  
令和6年1月15日(月)

【照会先】  
岩手労働局労働基準部健康安全課  
課長 若月 敏幸  
課長補佐 藤元 佳能  
(電話) 019-604-3007

## 令和5年1月～12月分の労働災害発生状況 (速報値) を公表します

～死亡者数、死傷者数ともに前年同期より減少～

岩手労働局(局長 栗村 勝行)は、令和5年1月～12月の県内の全業種における労働災害による死傷者数(休業4日以上)と死亡者数の状況を取りまとめました。

- 1 令和5年1月～12月の死傷者数(12月末現在の速報値)は1,639人で、前年同期比で455人(21.7%)の減少、死亡者数は11人と前年同期比で10人の減少となっています。
- 2 業種別の災害発生状況等の詳細については、別添のとおりとなっています。

令和5年の死傷災害は、新型コロナウイルス感染症による労働災害が大きく減少したこともあり、全体でも前年より減少していますが、新型コロナウイルス感染症による労働災害を除くと依然として転倒災害が全体の約3割を占めていることから、引き続き転倒災害防止対策を積極的に推進していく必要があります。

特に当局管内においては冬季間に転倒災害の約半数が発生していることを踏まえ、今後は12月から翌年2月を「冬季転倒災害防止対策強化期間」と定め、冬季の転倒災害防止に取り組むこととし、冬季間における転倒災害の防止対策について労働災害防止団体、事業者団体を通じて管内の事業場に働きかけるとともに、労働局、労働基準監督署においても事業者と接する機会をとらえて積極的に指導してまいります。



## I 令和5年（1月～12月）の労働災害発生状況（令和5年12月末現在の速報値）

### 1 死傷災害（休業4日以上） 【表1】(P. 4)、【グラフ1】、【グラフ2】(P. 6)、【参考3】(P. 11)

#### (1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は1,639人で、前年同期比で455人（21.7%）の減少となっています。

#### (2) 業種別の状況[大分類]

- ① 前年同期比で増加数の多い順に、「接客娯楽業」73人（前年同期比+10人、+15.9%）、  
「貨物取扱」4人（同+1人、+33.3%）となっています。
- ② 前年同期比で減少数の多い順に、「保健衛生業」472人（前年同期比-282人、-37.4%）、  
「製造業」277人（同-63人、-18.5%）、「建設業」208人（同-32人、-13.3%）、  
「運輸交通業」144人（同-25人、-14.8%）と「商業」181人（同-25人、-12.1%）が同数、  
次いで「農林業」55人（同-9人、-14.1%）、「通信業」20人（同-7人、-25.9%）、  
「畜産水産業」64人（同-6人、-8.6%）、「鉱業」2人（同-4人、-66.7%）となっています。

#### (3) 事故の型別労働災害発生状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、388人（23.7%）となっています。次いで、「墜落・転落」193人（11.8%）、  
「動作の反動・無理な動作」161人（9.8%）、  
「はさまれ・巻き込まれ」143人（8.7%）、  
「切れ・こすれ」87人（5.3%）、  
「激突され」83人（5.1%）、  
「激突」74人（4.5%）、  
「飛来・落下」54人（3.3%）、  
「交通事故（道路）」51人（3.1%）、となっています。

なお、【グラフ2】の「その他（上記以外）」の405人のうち、新型コロナウイルス感染症によるものが319人（前年同期686人）となっています。

### 2 死亡災害 【表2】、【表3】(P. 5)

#### (1) 全業種合計

全業種合計の死亡者数は11人で、前年同期と比べ10人の減少となっています。

#### (2) 業種別の状況

業種では、「製造業」と「建設業」が各3人、「林業」と「商業」が各2人、「その他」が1人となっています。

## II 労働災害発生状況の分析

### 【グラフ3】、【グラフ4】(P. 7)、【グラフ5】、【グラフ6】(P. 8)

#### (1) 全業種について【グラフ3】(P. 7)

休業4日以上の労働災害は、各年12月末速報値でみると、平成29年以降3年連続増加し、令和2年は減少しましたが、令和3年からは再び増加に転じ、特に令和3年から令和4年にかけては新型コロナウイルス感染症の増加等により大幅に増加しております。

たが、令和5年は減少に転じています。

(2) 主要業種の状況について【グラフ4】(P.7)

「製造業」277人(前年同期比-63人、-18.5%)、「建設業」208人(同-32人、-13.3%)、「道路貨物運送業」134人(同-6人、-4.3%)、「林業」40人(同-9人、-18.4%)、「小売業」144人(同-16人、-10.0%)、「社会福祉施設」328人(同-136人、-29.3%)と、主要業種すべてが減少となっています。

(3) 転倒災害の発生状況について【グラフ5】、【グラフ6】(P.8)

転倒災害は、「製造業」(80人)、「小売業」(61人)、「社会福祉施設」(51人)では、新型コロナウイルス感染症による労働災害を除くと事故の型別で最も多くなっており、また、「建設業」(31人)、「道路貨物運送業」(20人)では同じく2番目に多くなっているなど、事故の型の上位を占めています。

また、全業種の年代別では60代で最も多くなっており、50代以上でみると転倒災害全体の約8割を占めています。

### Ⅲ 令和5年の労働発生状況を踏まえた令和6年の取組

令和5年の死傷災害は、新型コロナウイルス感染症による労働災害が大きく減少したこともあり、全体でも前年より減少していますが、新型コロナウイルス感染症による労働災害を除くと依然として転倒災害が全体の約3割を占めていることから、引き続き転倒災害防止対策を積極的に推進していく必要があります。

特に当局管内においては冬季間に転倒災害の約半数が発生していることを踏まえ、今後は12月から翌年2月を「冬季転倒災害防止対策強化期間」と定め、冬季の転倒災害防止に取り組むこととし、冬季間における転倒災害の防止対策について労働災害防止団体、事業者団体を通じて管内の事業場に働きかけるとともに、労働局、労働基準監督署においても事業者と接する機会をとらえて積極的に指導してまいります。

# 冬季転倒災害防止対策 強化期間

岩手労働局では、冬季間における転倒災害を防止するため、12月から2月までを「冬季転倒災害防止対策強化期間」と定め、「いわて年末年始無災害運動」と連動し転倒災害防止に取り組みます。



職場から転倒災害をなくしましょう！  
《12月～2月は冬季転倒災害防止対策強化期間です》



岩手労働局管内では**転倒**による労働災害が最も多く  
全体の**約3割**を占めています  
特に**12月から2月の冬季**に多く発生します

岩手労働局 過去10年平均の月別転倒災害発生状況



※ 過去10年平均：平成25年から令和4年の確定値



滑りにくい靴の着用

厚生労働省  
**岩手労働局**  
各労働基準監督署



清掃・除雪の励行

【表1】

令和5年 労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

令和5年1月～12月

岩手労働局

業種	岩手局		増減数	増減率	盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署	
	令和5年	令和4年										
製造業	食料品	23 (7)	42 (3)	-19	-45.2%	1 (1)		8 (2)		14 (4)		
	水産・食料品	96 (33)	109 (36)	-13	-11.9%	34 (6)	1	4 (2)	18 (9)	1 (1)	① 21 (6)	
	繊維・衣服その他繊維製品	7 (3)	8 (3)	-1	-12.5%		2		1		2 (2)	1 (1)
	木材・木製品、家具・装備品	28 (4)	38 (5)	-10	-26.3%	3	10	2	3 (2)	① 3 (1)	2	5 (1)
	パルプ・紙、印刷・製本	5	6 (1)	-1	-16.7%	1			4			
	化学工業	14 (3)	17 (3)	-3	-17.6%	1			9 (2)	3 (1)		1
	窯業土石	6 (1)	10 (3)	-4	-40.0%	1	1		2 (1)	2		
	鉄鋼業、非鉄金属	7 (2)	8 (1)	-1	-12.5%		1		2 (2)	4		
	金属製品	24 (2)	27 (5)	-3	-11.1%	① 6	1		11 (1)	6 (1)		
	一般機械器具	21 (6)	22 (8)	-1	-4.5%	3 (3)	1	6 (2)	9	2 (1)		
	電気機械器具	17 (8)	27 (8)	-10	-37.0%	2 (2)			14 (6)	1		
	輸送用機械製造	11 (4)	9 (4)	2	22.2%	3 (2)		1 (1)	3 (1)	2		2
	電気・ガス	2	3 (2)	-1	-33.3%			2				
	その他の製造	16 (7)	14 (5)	2	14.3%	10 (4)			4 (3)	1		
	小計	277 (80)	340 (87)	-63	-18.5%	① 65 (18)	17	23 (7)	80 (27)	① 42 (13)	20 (7)	① 30 (8)
2	6 (3)		-4	-66.7%				1	1			
土木工事	66 (7)	69 (7)	-3	-4.3%	15	8	5 (2)	① 18 (2)	9 (1)	7 (2)	4	
鉄骨・鉄筋家屋	31 (6)	33 (5)	-2	-6.1%	8 (2)	2 (1)		16 (2)	5 (1)			
建築工事	43 (4)	50 (3)	-7	-14.0%	14 (1)	3 (1)	2	② 12	4 (1)	3	5 (1)	
その他の建築工事	39 (8)	59 (5)	-20	-33.9%	11 (3)	2	5 (2)	9 (1)	4	3	5 (2)	
その他の建設	29 (6)	29 (5)	0	0.0%	8 (1)		2 (1)	10 (3)	3	2 (1)	4	
小計	208 (31)	240 (25)	-32	-13.3%	56 (7)	15 (2)	14 (5)	③ 65 (8)	25 (3)	15 (3)	18 (3)	
134 (20)	140 (35)	-6	-4.3%	43 (7)	4	4 (1)	47 (6)	20 (1)	5 (1)	11 (4)		
10 (7)	29 (19)	-19	-65.5%	7 (5)	1	1 (1)						
4 (2)	3 (2)	1	33.3%	2 (2)								
15	15 (5)	0	0.0%	6	1			2	3	1	2	
40 (6)	49 (5)	-9	-18.4%	① 9	① 6 (1)	6 (2)	1 (1)	10	6	5 (2)	7	
52 (5)	56 (7)	-4	-7.1%	16 (2)	4	1			9	3	13 (3)	
12 (1)	14 (2)	-2	-14.3%							5 (1)	2	
144 (61)	160 (70)	-16	-10.0%	66 (25)	4 (1)	8 (4)	② 36 (15)	15 (10)	10 (3)	5 (3)		
37 (12)	46 (14)	-9	-19.6%	18 (3)			11 (5)	4 (2)	3 (1)	1 (1)		
20 (9)	27 (14)	-7	-25.9%	6 (4)			8 (2)	2 (1)	1 (1)	3 (1)		
328 (51)	464 (45)	-136	-29.3%	112 (21)	1	10 (3)	74 (15)	34 (5)	44 (3)	53 (4)		
144 (19)	290 (21)	-146	-50.3%	77 (10)	30 (1)	4	21 (4)	9 (3)	1	2 (1)		
19 (5)	29 (14)	-10	-34.5%	11 (1)		1		6 (4)				
33 (13)	25 (7)	8	32.0%	16 (4)			11 (5)	5 (3)		1 (1)		
21 (8)	9 (4)	12	133.3%	8 (2)			7 (2)	4 (2)		2 (2)		
26 (15)	44 (30)	-18	-40.9%	17 (10)		1	7 (5)			1		
① 113 (43)	② 108 (33)	5	4.6%	① 49 (11)	4	4 (2)	25 (17)	12 (6)	6 (2)	13 (5)		
① 1,639 (388)	② 2,094 (442)	-455	-21.7%	③ 584 (132)	① 88 (5)	78 (25)	⑤ 408 (113)	① 197 (53)	② 188 (39)	① 145 (9)	③ 243 (38)	
③ 731 (157)	④ 91 (26)	-3	-3.3%	④ 91 (157)	-3	-37	-173	⑤ 581 (149)	② 188 (39)	① 145 (9)	③ 243 (38)	
④ 147		-147	-20.1%			-32.2%			9	-24	-80	
増減率									4.8%	-16.6%	-32.9%	

(注) 令和5年は令和5年12月末の速報値、令和4年は令和4年12月末の速報値です。  
○内は転倒災害者数(内数)です。

【表2】

## 令和5年 死亡災害発生状況（令和5年12月末日現在）

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要
1	花巻	建設業 (橋梁建設工事業)	3月	月	男	50歳代 (30年以上 40年未満)	墜落・転落	作業床、歩 み板	作業構台の組立作業中、仮設の作業床を移動させるため、労働者2人が作業床に乗り、作業床を固定していた金具を外した後、被災者が作業床上を歩行していたところ作業床が傾き、被災者が6.3m下の地面に墜落し死亡したものの。
2	花巻	商業 (その他の小売業)	4月	木	男	40歳代 (1年以上 10年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	その他の一 般動力機械	走行中、突然エンジンが停止した自走式木材粉碎機(チップパー)のバッテリーを充電し、被災者が運転席の外からエンジンキーを回したところ、エンジンがかかると同時にチップパーが走行し始め、隣に駐機していたアースドリル機との間に被災者がはさまれ死亡したものの。
3	盛岡	警備業	6月	火	女	20歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (道路)	トラック	高速道路の走行車線に設けた工事用の規制帯で、工事業者の労働者が積載型トラッククレーンを運転し、規制帯から本線への車両出入口に向けて約500メートル後進させていたところ、後方で一般車両の誘導を行っていた被災者が当該トラッククレーンの左後輪部で轢かれ死亡したものの。
4	盛岡	農林業 (木材伐出業)	7月	水	男	60歳代 (20年以上 30年未満)	墜落・転落	伐木等機械	被災者が林業グラブプルを用いて作業中、作業道の路肩から谷側に林業グラブプルごと転落し死亡したものの。
5	花巻	商業 (新聞販売業)	8月	水	男	70歳代 (30年以上 40年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、バ ス、バイク	新聞配達のため原付バイクで道路を走行中、信号機のない十字路口交差点に進入したところ、左側から走行してきた軽乗用車と出合頭に衝突し死亡したものの。
6	花巻	建設業 (木造家屋建築工事業)	8月	水	男	50歳代 (10年以上 20年未満)	墜落・転落	作業床、歩 み板	木造家屋の解体工事現場において、半分程度解体した2階の床上を歩いていた被災者が床の端部から3.2m下の基礎コンクリートに墜落し死亡したものの。
7	花巻	建設業 (木造家屋建築工事業)	9月	金	男	60歳代 (40年以上 50年未満)	墜落・転落	屋根、はり、もや、 けた、合掌	木造平屋建ての新築工事現場において、被災者が下請けの労働者と共に屋根の養生用シートの設置作業を行っていたところ、斜め梁の上から約4m下のコンクリート基礎に墜落し死亡したものの。
8	一関	製造業 (製材業)	11月	金	男	60歳代 (20年以上 30年未満)	飛来・落下	木材、竹材	トラックの荷台の丸太を荷降しするため、被災者がラッシングベルトを外したところ、落下防止用の支柱よりも上に積まれた丸太1本が落下して被災者に激突し死亡したものの。
9	宮古	農林業 (木材伐出業)	11月	月	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	激突され	立木等	労働者4名で間伐作業を行っていたところ、同僚の切り倒した伐倒木が、約20m下方で作業を行っていた被災者の頭部を直撃し死亡したものの。
10	盛岡	製造業 (その他の金属製品 製造業)	12月	火	男	30歳代 (10年以上 20年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	クレーン	製品ヤード内で被災者がホイスト式橋形クレーンを用いて鉄骨をトラックに積む作業を行っていたところ、クレーンでつり上げた鉄骨が振れ、被災者がつり上げた鉄骨の横にあった別の鉄骨との間に挟まれ死亡したものの。
11	二戸	製造業 (肉製品、乳製品製 造業)	12月	土	男	50歳代 (20年以上 30年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	その他の一 般動力機械	袋詰め作業場において、被災者が稼働中の「自動充填機」資材折込部に頭部が挟まれ死亡したものの。

【表3】

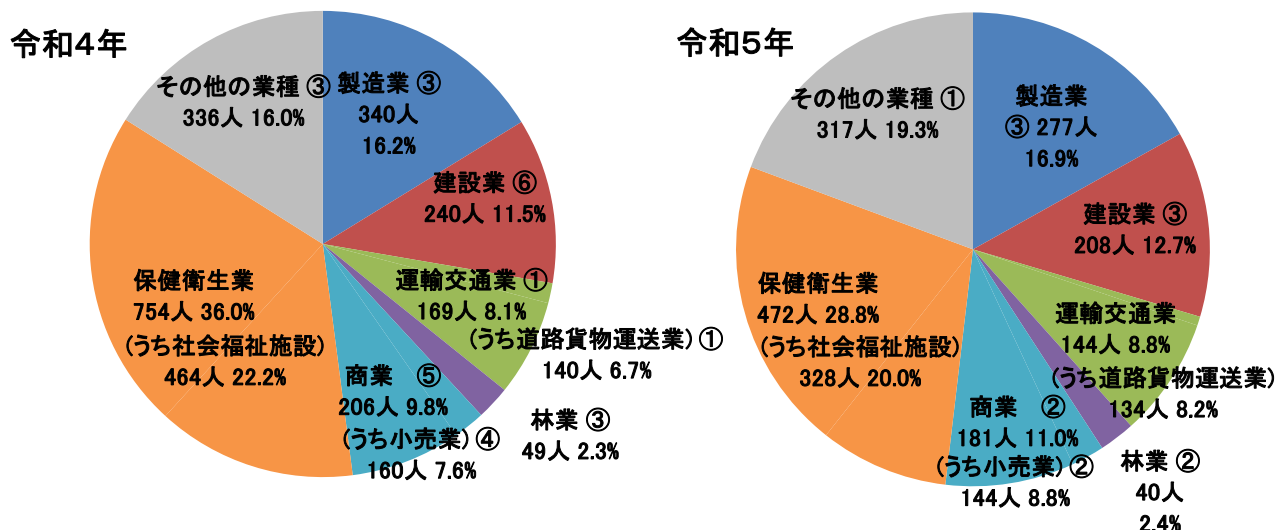
## 令和5年 死亡災害発生状況（事故の型別等）

(令和5年12月末日現在)

業種別	製造業	鉱業	建設業	運輸交通業	林業	商業	左記以外	11人 (前年同期21人)
	3人 (3人)	0人 (0人)	3人 (6人)	0人 (1人)	2人 (3人)	2人 (5人)	1人 (3人)	
監督署別	盛岡 3人 (3人)	宮古 1人 (4人)	釜石 0人 (3人)	花巻 5人 (5人)	一関 1人 (2人)	大船渡 0人 (1人)	二戸 1人 (3人)	
事故の型別	墜落・転落 4人 (3人)	転倒 0人 (0人)	飛来・落下 1人 (3人)	崩壊・倒壊 0人 (3人)	激突され 1人 (2人)	はさまれ・ 巻き込まれ 3人 (1人)	切れ・こすれ 0人 (0人)	
	破裂 0人 (0人)	高温の物との 接触 0人 (0人)	激突 0人 (0人)	感電 0人 (0人)	有害物等との 接触 0人 (0人)	交通事故 2人 (4人)	その他 0人 (5人)	

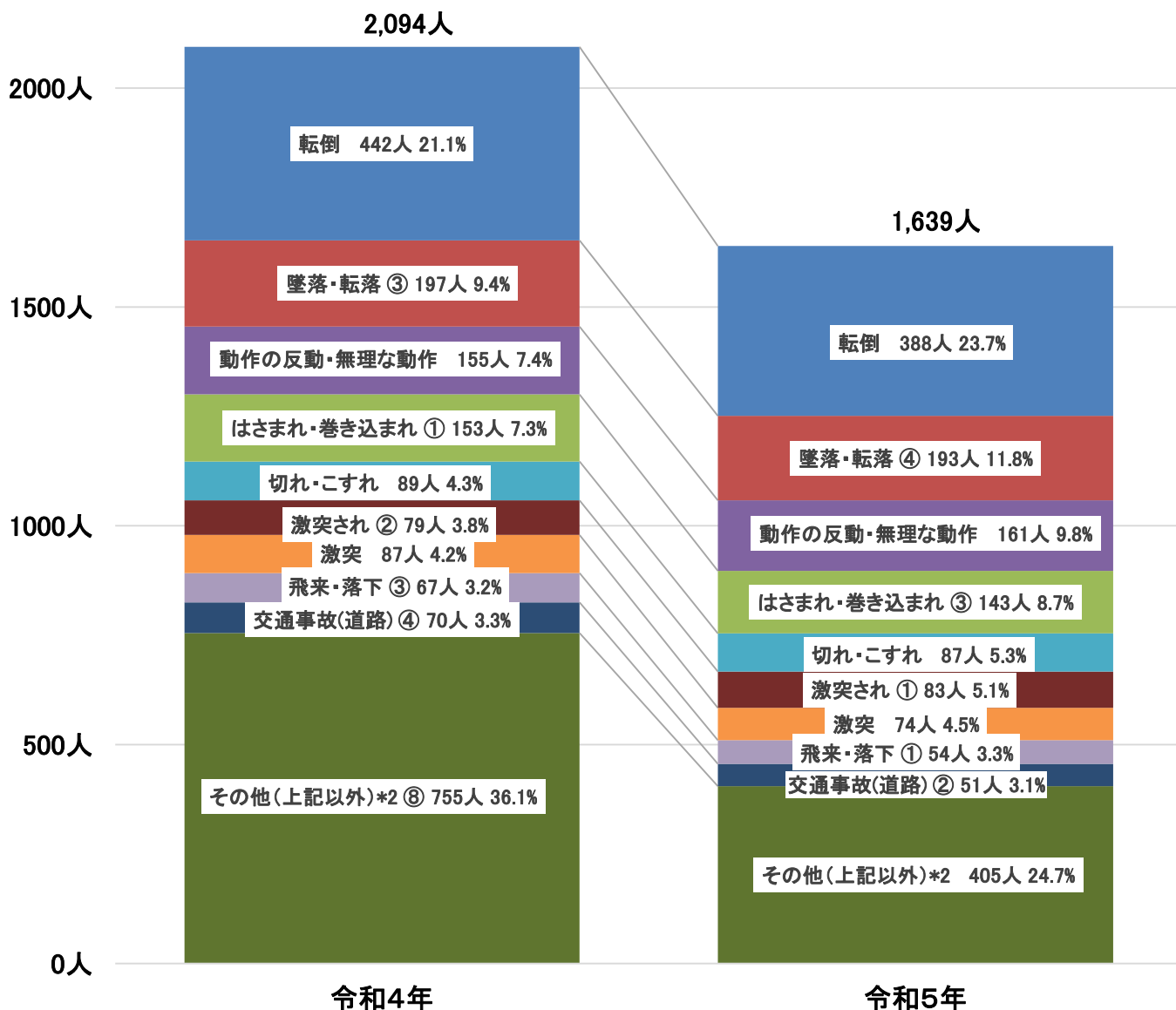
注：（ ）内は前年同期

【グラフ1】 令和4年・令和5年 業種別労働災害発生状況[1月～12月]\*1



\*1 令和4年は令和4年12月末の速報値、令和5年は令和5年12月末の速報値

【グラフ2】 令和4年・令和5年 事故の型別労働災害発生状況[1月～12月]\*1



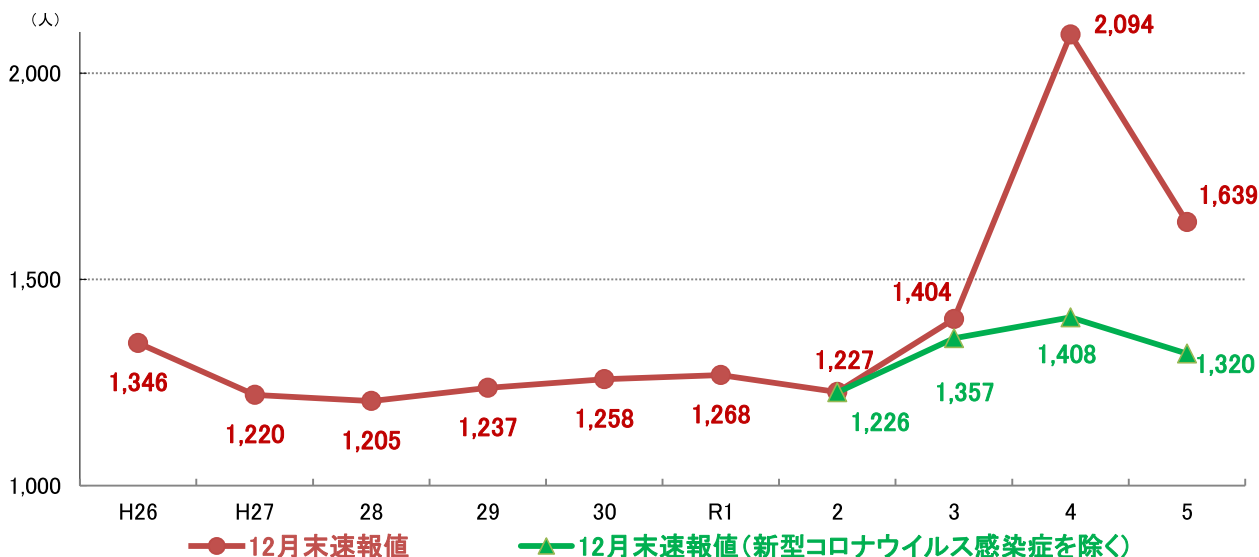
○内は死亡者数(内数)です。

\*1 令和4年は令和4年12月末の速報値、令和5年は令和5年12月末の速報値

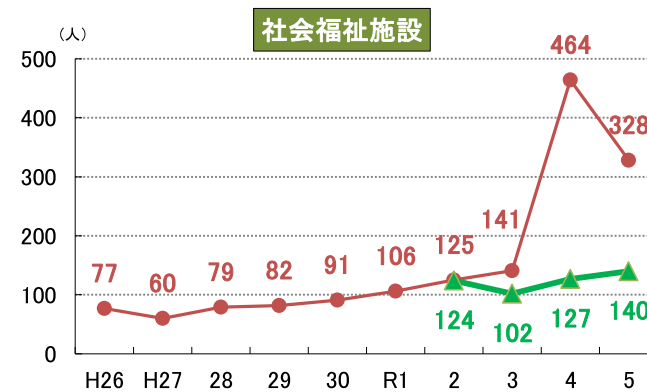
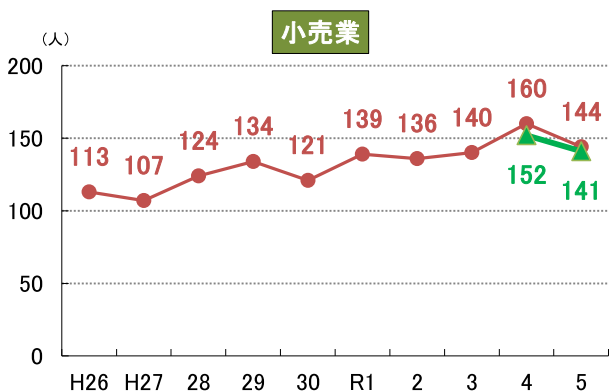
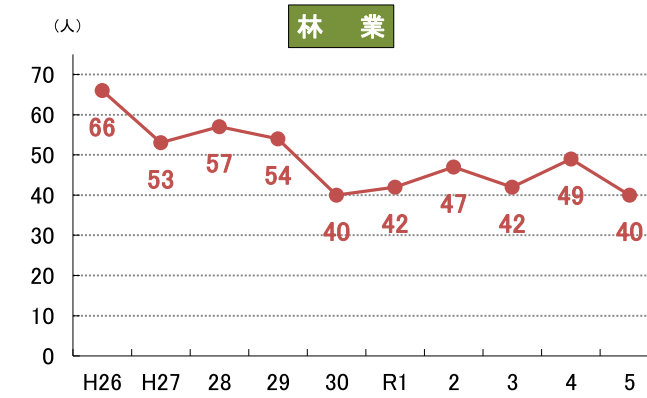
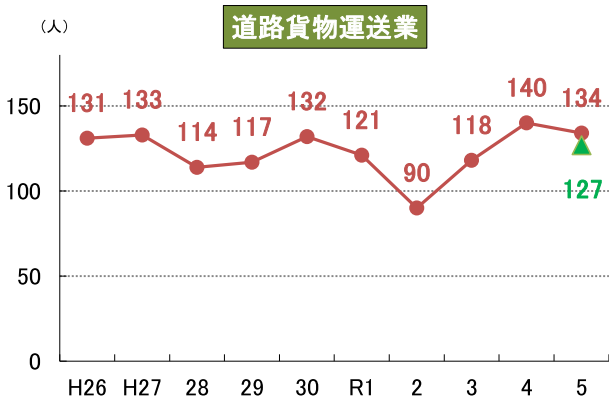
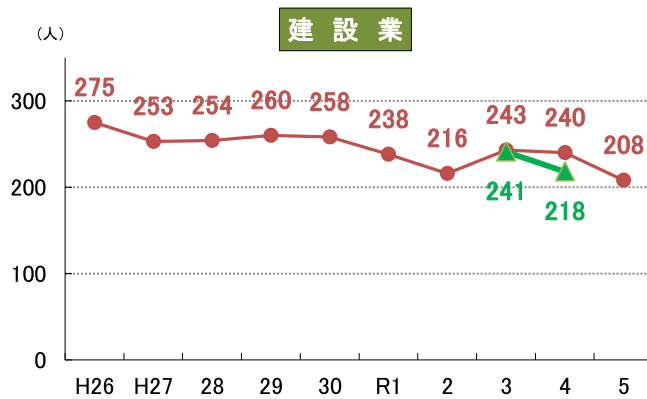
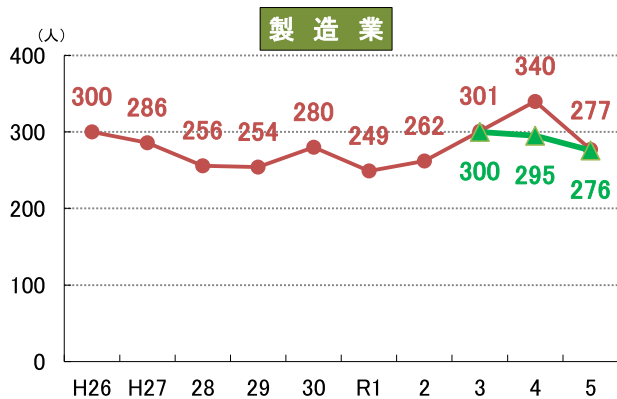
\*2 「その他(上記以外)」には新型コロナウイルス感染症によるものを含みます。



【グラフ3】災害発生状況の推移（全業種）〔各年12月末速報値〕

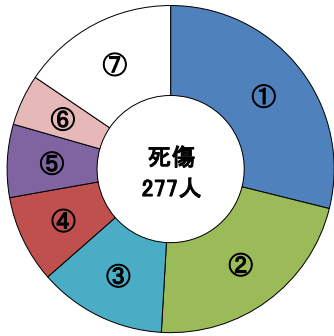


【グラフ4】災害発生状況の推移（主要業種）〔各年12月末速報値〕

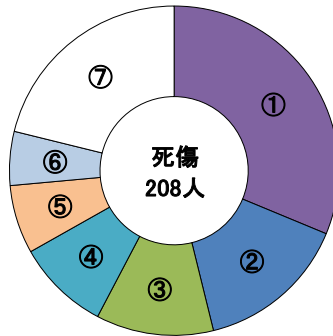


【グラフ5】 事故の型別発生状況(主要業種)〔令和5年12月末速報値〕

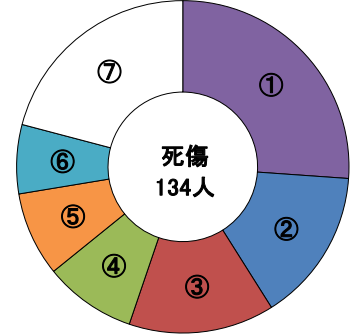
【製造業】



【建設業】



【道路貨物運送業】



① 転倒	80人	28.9%
② はさまれ、巻き込まれ	61人	22.0%
③ 切れ、こすれ	35人	12.6%
④ 動作の反動、無理な動作	24人	8.7%
⑤ 墜落、転落	20人	7.2%
⑥ 高温・低温のものとの接触	14人	5.1%
⑦ 上記以外	43人	15.5%

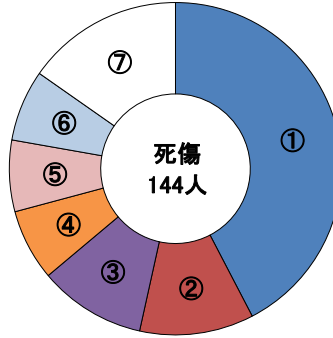
① 墜落、転落	65人	31.3%
② 転倒	31人	14.9%
③ はさまれ、巻き込まれ	24人	11.5%
④ 切れ、こすれ	19人	9.1%
⑤ 飛来、落下	14人	6.7%
⑥ 交通事故(道路)	11人	5.3%
⑦ 上記以外	44人	21.2%

① 墜落、転落	35人	26.1%
② 転倒	20人	14.9%
③ 動作の反動、無理な動作	19人	14.2%
④ はさまれ、巻き込まれ	12人	9.0%
⑤ 激突	11人	8.2%
⑥ 激突され	9人	6.7%
⑦ 上記以外	28人	20.9%

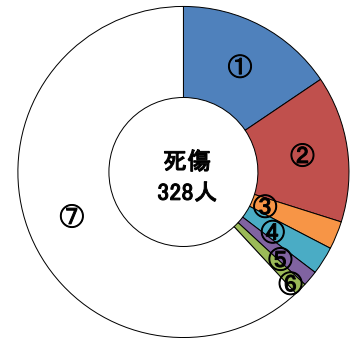
【林業】



【小売業】



【社会福祉施設】

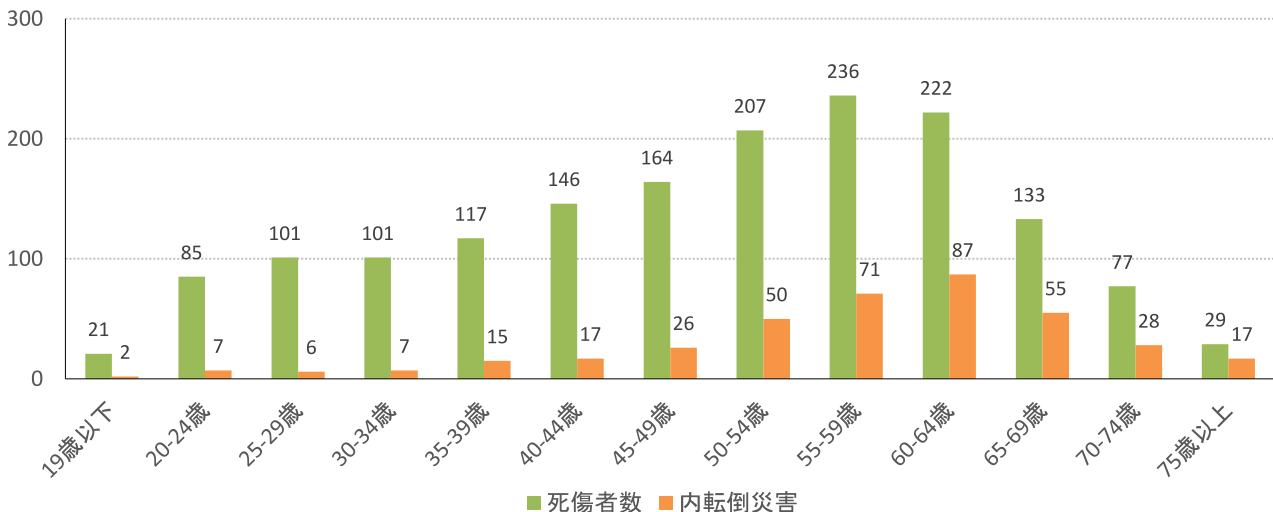


① 激突され	14人	35.0%
② 飛来、落下	7人	17.5%
③ 転倒	6人	15.0%
④ はさまれ、巻き込まれ	4人	10.0%
⑤ 切れ、こすれ	4人	10.0%
⑥ 墜落、転落	3人	7.5%
⑦ 上記以外	2人	5.0%

① 転倒	61人	42.4%
② 動作の反動、無理な動作	16人	11.1%
③ 墜落、転落	15人	10.4%
④ 激突	10人	6.9%
⑤ 高温・低温のものとの接触	10人	6.9%
⑥ 交通事故(道路)	10人	6.9%
⑦ 上記以外	22人	15.3%

① 転倒	51人	15.5%
② 動作の反動、無理な動作	47人	14.3%
③ 激突	9人	2.7%
④ 激突され	9人	2.7%
⑤ 墜落、転落	5人	1.5%
⑥ はさまれ、巻き込まれ	4人	1.2%
⑦ 上記以外	203人	61.9%

【グラフ6】 年代別転倒災害発生状況(全業種)〔令和5年12月末速報値〕





【参考2】

令和5年 労働災害発生状況 (休業4日以上の死傷者数)

令和5年1月～12月

岩手労働局

業種	当年累計	年齢別発生状況												
		19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
製造業	食料品	23 (7)	4	3	2	1	4 (1)	2 (2)	4 (2)	2 (2)	1			
	水産食料品													
	上記以外の食料品	① 96 (33)	2	7	3	4 (3)	7 (2)	10 (4)	16 (6)	① 14 (6)	9 (5)	1		
	繊維・衣服その他繊維製品	7 (3)	1		1		1 (1)		1 (1)		2			
	木材・木製品、家具・装備品	① 28 (4)	1	4 (1)	1	4	2	2	3	① 4 (1)	4 (1)	2 (1)	1	
	パルプ・紙、印刷・製本	5		1	1	1	2							
	化学工業	14 (3)			2	3	2 (2)	2	1	1	3 (1)			
	窯業土石	6 (1)			1	1 (1)			2			1		
	鉄鋼業、非鉄金属	7 (2)	1		2	1	1			1 (1)				
	金属製品	① 24 (2)	2	2 (1)	① 4	3	2		5	2	2 (1)	1		
建設業	一般機械器具	21 (6)	1	2	2	2	3 (1)	4 (2)	2 (1)	3 (1)	1	1 (1)		
	電気機械器具	17 (8)	1 (1)	3 (1)	2	2	2	1	4 (3)	3 (2)	1 (1)			
	輸送用機械製造	11 (4)	1	1	2 (1)	2 (1)	1	1	2 (1)	1			1 (1)	
	電気・ガス	2				1	1							
	その他の製造	16 (7)			1	1	1 (1)	3	2 (1)	2	3 (2)	2 (2)	1 (1)	
	小計	③ 277 (80)	14 (1)	23 (3)	① 20 (1)	25 (4)	23 (7)	31 (7)	39 (15)	① 33 (14)	① 36 (14)	20 (9)	8 (3)	2 (1)
	土木工事	① 66 (7)	5		5	4 (1)	5 (2)	4	8 (2)	① 8 (1)	13	6 (1)	5	2
	鉄骨・鉄筋家屋	31 (6)		7	1	1	4	3 (1)	2	5 (1)	6 (4)	2		
	木造家屋	② 43 (4)	5	3	4	1	3	3 (1)	4	① 3	① 8 (1)	3 (1)	5 (1)	
	その他の建築工事	39 (8)	2 (1)	3	5 (1)	2	2	5 (2)	4	6		6 (2)	3 (1)	1 (1)
その他の建設	29 (6)	1	1	3 (1)	2 (1)	6 (1)	2	5 (1)	3 (1)	5 (1)		1		
小計	③ 208 (31)	13 (1)	14	18 (2)	10 (2)	20 (3)	17 (4)	23 (3)	② 25 (3)	① 32 (6)	17 (4)	14 (2)	3 (1)	
道路貨物運送業	134 (20)	2	6 (1)	5	12 (3)	7 (3)	21 (2)	28 (3)	18 (2)	10 (3)	5	1		
その他の運輸交通業	10 (7)						1	1	1 (1)	4 (3)	2 (2)	1 (1)		
貨物取扱	4 (2)	1 (1)		1					1 (1)			1		
農業	15	3	1	1		2	1		1	2	1	1		
林業	② 40 (6)	1	1 (1)	1		5	3	6	3 (1)	5	② 6 (1)	7 (2)	2 (1)	
畜産業	52 (5)	3	4	6	2	6	8 (1)	9 (2)	2	2	1			
水産業	12 (1)	2	1		2	1	1	1		2	2 (1)			
小売業	② 144 (61)	6	3	3	2 (1)	11 (1)	① 9 (3)	18 (7)	21 (9)	25 (17)	22 (13)	8 (4)	① 7 (6)	
その他の商業	37 (12)	2	3	3	3	2 (1)	6 (4)	5	7 (3)	5 (3)	1	1	1 (1)	
通信業	20 (9)	2	1	2	2 (1)	2 (2)	2	2 (1)	5 (3)	2 (2)				
保健衛生業	328 (51)	23 (1)	26 (1)	20	18	33 (3)	45 (9)	50 (10)	19 (6)	37 (13)	11 (4)	4 (2)		
その他の保健衛生業	144 (19)	7 (1)	8	12 (1)	17	17	12 (2)	20 (2)	7 (4)	16 (7)	3 (1)	1 (1)		
旅館業	19 (6)	2	1		2	2	2	1	1	3 (2)	3 (1)			
飲食店	33 (13)	4	3 (1)	2	4 (1)	3 (2)	1	1 (1)	8 (4)	3 (3)	3	1 (1)		
その他の接客娯楽業	21 (8)	1 (1)	2	1	1	2 (1)	1	3 (1)	6 (2)	2 (2)	1 (1)			
ビルメンテナンス業	26 (15)			2	2	1	1 (1)	5 (5)	3 (1)	5 (3)	5 (3)	4 (2)		
その他(上記以外の全ての業種)	① 113 (43)	① 2	5	3 (1)	10 (1)	10 (2)	16 (7)	23 (10)	8 (6)	23 (12)	8 (6)	7 (5)	1	
合計	⑩ 1,639 (388)	21 (2)	① 85 (7)	101 (6)	① 101 (7)	117 (15)	146 (17)	① 164 (26)	207 (50)	③ 236 (71)	② 222 (87)	② 133 (55)	77 (28)	① 29 (17)

(注) 当年累計は令和5年12月末の速報値です。  
 ○内は死亡者数(内数)です。 ( )内は転倒災害者数(内数)です。

【参考3】

令和5年 主要業種における事故の型別労働災害発生状況(休業4日以上の死傷者数)

令和5年12月(令和5年12月末の速報値)

	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	踏み抜き	おぼれ	高温・低温の物との接触	有害物等との接触	感電	爆発	破裂	火災	交通事故(道路)	交通事故(その他)	動作の反動・無理な動作	その他	分類不能	計
製造業	20	80	9	12	4	9	61	35	0	0	14	2	0	1	1	0	3	0	24	1	1	277
建設業	65	31	8	14	4	9	24	19	2	0	7	2	0	0	0	0	11	1	10	1	0	208
道路貨物運送業	35	20	11	7	3	9	12	0	0	0	3	0	0	0	0	0	7	0	19	8	0	134
林業	3	6	0	7	1	14	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	40
小売業	15	61	10	1	1	4	4	8	1	0	10	0	0	0	0	0	10	0	16	3	0	144
社会福祉施設	5	51	9	1	1	9	4	5	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	47	192	0	328
全産業	193	388	74	54	16	83	143	87	3	0	45	7	0	1	1	0	51	1	161	329	2	1,639
	11.8%	23.7%	4.5%	3.3%	1.0%	5.1%	8.7%	5.3%	0.2%	0.0%	2.7%	0.4%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	3.1%	0.1%	9.8%	20.1%	0.1%	100.0%

令和4年12月(令和4年12月末の速報値)

製造業	29	87	9	18	1	15	68	22	1	0	12	2	1	1	1	2	2	0	24	45	0	340
建設業	72	25	13	19	6	11	22	23	0	0	2	2	0	0	0	0	12	0	10	23	0	240
道路貨物運送業	35	35	13	4	1	5	14	1	1	0	1	0	0	0	0	0	11	0	19	0	0	140
林業	5	5	1	7	4	12	2	10	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	49
小売業	7	70	10	7	0	5	10	8	0	1	3	0	0	0	0	0	16	0	15	8	0	160
社会福祉施設	5	45	10	1	0	12	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	6	0	39	341	0	464
全産業	197	442	87	67	14	79	153	89	2	1	27	7	1	4	1	2	70	3	155	693	0	2,094
	9.4%	21.1%	4.2%	3.2%	0.7%	3.8%	7.3%	4.3%	0.1%	0.0%	1.3%	0.3%	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%	3.3%	0.1%	7.4%	33.1%	0.0%	100.0%

<差分>

製造業	-9	-7	0	-6	3	-6	-7	13	-1	0	2	0	-1	0	0	-2	1	0	0	-44	1	-63
建設業	-7	6	-5	-5	-2	-2	2	-4	2	0	5	0	0	0	0	0	-1	1	0	-22	0	-32
道路貨物運送業	0	-15	-2	3	2	4	-2	-1	-1	0	2	0	0	0	0	0	-4	0	0	8	0	-6
林業	-2	1	-1	0	-3	2	2	-6	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	-1	0	0	-9
小売業	8	-9	0	-6	1	-1	-6	0	1	-1	7	0	0	0	0	0	-6	0	1	-5	0	-16
社会福祉施設	0	6	-1	0	1	-3	3	3	0	0	1	-1	0	0	0	0	-4	0	8	-149	0	-136
全産業	-4	-54	-13	-13	2	4	-10	-2	1	-1	18	0	-1	-3	0	-2	-19	-2	6	-364	2	-455